

## 旭市立古城小学校学校再編地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校の統合について旭市立古城小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を1校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」  
とする基本方針に、「賛成」とする。

### 【検討の経緯と理由】

古城小学校は、明治9年の創立以来、時代の変遷の影響を受けつつも地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、古城地区のシンボルでもあり「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成」を学校教育目標として、地域に根付き親しまれた学校が閉校することは非常に惜しまれる。

一方で、昭和の時代には500名以上いた児童数は令和5年度に約100名となり、すべての学年で1学年1学級となっている。

会議の中では、統合は時代の流れで仕方がないが土砂災害や通学路の安全対策を求める意見や、統合場所は中央地区に新築してほしいなど、様々な意見があった。

それぞれの意見を出し合った結果、多数の委員が統合は「賛成」または「やむを得ない」との意見であった。また、保護者アンケートの結果を尊重すべきとの意見もあった。

よって、子どもたちのことを最優先に考えると、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられる学校環境が必要と判断し、基本方針に「賛成」となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心して生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めるため、次のとおり要望があった。

### 【統合に向けての要望事項】

- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や個々に応じた心のケアなどの必要な活動を実施していただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③古城小地区でも通学距離や集団登校が難しい地域などを考慮してスクールバスの導入を検討していただきたい。スクールバスの導入の際は、安全な運行ができるような業者選定のほか、バスロータリーや駐車場等の整備は出入りしやすい間口にするなど、歩行者との動線を分けるような安全の確保を踏まえた整備をしていただきたい。また、隣接する長熊公園のより有効な活用方法も検討していただきたい。
- ④プールやビオトープは、児童にとっても大切な活動のひとつなので、今後も継続できるように検討していただきたい。また、各学校にある記念樹などの移植や、利用しやすい学校施設の配置も検討していただきたい。
- ⑤近年の猛暑を考慮して体育館などにもエアコン設置を検討していただきたい。
- ⑥廃校となる中和小学校と萬歳小学校の跡地活用は、干潟地域の新たな拠点として地域の活性化につながるような活用方法を干潟地域全体で検討していただきたい。
- ⑦統合校は、新しい学校として地域のみinnで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

### 【会議の概要】

第1回 (R5.7.12)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 干潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.9.4)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.6)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換
第4回 (R5.11.13)	(1) 検討結果の報告書（案）について

令和5年11月13日

旭市教育委員会